

発 言 者	発 言 内 容 (開会 午後1時30分)
健康生きがい課長	<p>開会挨拶</p> <p>本日の会議について、2委員は欠席である。</p> <p>委嘱状交付</p> <p>1名が新任となるが本日欠席のため、紹介に代える。任期は前任者の任期を引き継ぐため、令和4年11月1日から令和5年3月31日までの期間となる。</p> <p>資料の確認及び追加</p> <p>大口町第9期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定に係る高齢者等実態調査業務の委託事業者も同席しているため、紹介する。</p>
委 託 事 業 者	挨拶
健康生きがい課長	<p>議題に入る。議事進行は、高齢者サービス調整会議設置条例第6条により、委員長に議事の進行をお願いする。</p>
議 長	<p>議題に沿って、議事を進行する。</p> <p>議題(1)大口町第9期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定に係る高齢者等実態調査の実施について、まずは、①の大口町高齢者ほほえみ計画(第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画)策定スケジュール(案)について、事務局より説明をお願いする。</p>
事 務 局	<p>大口町高齢者ほほえみ計画(第9期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画)の策定スケジュールについて資料を基に説明。</p>
議 長	<p>ただいまの説明について、何か質問はないか。</p> <p>特にないため、②高齢者等実態調査(案)について、事務局から報告をお願いする。</p>
事 務 局	<p>高齢者等実態調査の概要について資料を基に説明。</p>
議 長	<p>ただいま、事務局より高齢者等実態調査(案)について説明があった</p>

	が、何か質問等があるか。
学 識 経 験 者	<p>質問と意見を含めて3点お願いしたい。</p> <p>1点目は、資料No.2のひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の対象者人数が600人とあるが、前は686人となっている。全国的には増えている傾向にあると考えるが、どのように把握していくのか。</p> <p>2点目は、追加資料の避難行動要支援者登録制度に関する設問について、要支援者の事前登録しない理由の回答について、私の過去の経験上、個人情報を提供したくないということもあったため、選択肢の追加を検討してもいいのではないかと考える。</p> <p>3点目は、成年後見制度及び尾張北部権利擁護支援センターの認知度に関する項目を前回同様に記載してあることに感謝する。その中で、介護支援専門員に対しての調査には記載がない。在宅で生活する要介護認定者や介護者に深く関わっている介護支援専門員の方にどの程度認知されているか確認したいため、追加してもらいたい。</p>
事 務 局	<p>1点目の質問については、現状は大まかな人数を記している状況である。実際の数値については、8月1日時点で、ひとり暮らし高齢者が594人、高齢世帯が875人となっている。今後、12月1日時点で改めて人数を精査し、要介護認定者や長期療養者等を除いていくが、600人程度となると想定している。</p> <p>2点目の意見については、回答の選択肢に追加したい。</p> <p>3点目の意見についても、必要な項目と考えるため、追加したい。</p>
議 長	<p>成年後見制度について、介護支援専門員は住民に寄り添って活動しているため、知っているとは思いますが、聞いてみないと分からないため追加するとよいと考える。</p> <p>そのほか何か質問はあるか。</p>
健康推進員連絡会 代 表	<p>避難行動要支援者登録制度については、設置されてから進めていかなければならないものであると長年いわれているが、個人情報の問題等も</p>

	<p>あり、思うように進んでいないものと認識している。</p> <p>様々な場面で周知していかなければ住民に広がっていかないと考えるが、制度の周知については毎年どのようにして行っているのか。</p> <p>また、人生会議については、第8期や今回の実態調査においても記載があり、今後必要な取り組みであると考えているが、人生会議という名前を聞いただけではどのようなものなのかが分かりづらい。この取り組みの普及については、どのような機会に案内しているのか。</p>
事務局	<p>避難行動要支援者登録制度については、本当に課題となっている。防災の観点からいえば避難時のみ必要なものであるため、日頃の交流は望まないが防災の時だけは助けてほしいというような意見もある。</p> <p>そのような中で、ちょうど今年度から、勉強会をしている地域（小学校単位の地域）もあり、そこで話をしているのは、困ったときはお互いさまであるため、防災時にとどまらず、日頃の見守りから隣近所の間関係を築くきっかけとして登録制度を進めていけるとよい、というものである。また、勉強会の中では、地域に制度を浸透させるためには、誰と誰を繋いで話をすると効果的なのかというような話し合いも進めているところである。</p> <p>制度の周知としては、民生委員の定例会で行っている。</p>
民生委員協議会代表	<p>平成29年から民生委員が見守り対象者に対して呼びかけを行っているが、現在の状況はどうか。</p>
事務局	<p>対象者が2,113人に対し、手を挙げたのは183人である。その内、支援者を記載している人が69人、支援者がいない人が114人となる。</p> <p>大口町は支援者がいない状態でも登録できるため、地域でこの制度を利用するかどうかを置いておいたとしても、地域での見守り体制が必要であるということを知ってもらいきっかけ作りとしても皆さんに案内できればと考えている。</p>

民生委員協議会 代 表	見守りをする中で、代替わりもあり、隣近所の関係も希薄になってきたと感じる。
事 務 局	<p>数字で示してしまうと、厳しい現状であるため、今後も防災と地域福祉の観点から声かけを続けていくため、各委員においても力添えいただきたいと考える。</p> <p>また、人生会議（ACP）については、尾北医師会の在宅医療介護連携の事業の中で協力してもらい、住民向けの勉強会や講演会、専門職向けの研修会を開催している状況である。コロナの影響により、住民向けの勉強会や講演会が開催できていなかったが、来年3月上旬に江南市のホールを借りて2市2町合同での講演会を予定しているため、今後広報等でも周知していくことを考えている。</p> <p>地域の中での活動となると、勉強会を経て取組の普及に賛同いただいた方々による出前講座を実施しており、老人クラブ等に声をかけて希望された団体において、カードゲームを利用した体験型の勉強会を行っている。今年度は余野千歳会で実施しているが、まだ大口町での実施可能な枠があるため、希望があれば参加いただきたい。</p>
健康推進員連絡会 代 表	<p>避難行動における支援者の登録については、見守りから通じており、過去に私の地元区でも見守りの制度について勉強会を行っている。グループに分かれて勉強しながら、自分の周りに要支援者がいるかどうか、いるのであれば、その人を普段から見守り、いざという時は助け合いましょうという支援者の役割を学んだ。</p> <p>地域の皆さんが制度について理解をしていないと制度の登録まで進まないと考えるため、勉強会の実施で意識が変わると良いと考える。</p> <p>現在は、区会等においても若い世代が大半を占めており、近所との繋がりが無い人が増えていると感じる。集まる機会が無かったという理由も考えられるが、勉強会を開催することで集まる機会があると、地域の繋がりもできて良いのではないかと考える。</p>

<p>議 長</p>	<p>人生会議（ACP）については、尾北医師会が行動してやってみえるようだが、こういうものを周知していくことはなかなか難しいところがある。元気な時に状態が悪くなった時のことを考えていないと、いざ悪くなった時に慌ててしまい、思うような判断ができないことがある。</p> <p>そのため、元気な時に、悪くなった時に自分がどうしてほしいかを日頃から考えておき、意思表示をしておくというものである。</p> <p>以前からこのような考えがあったかもしれないが、より具体的な活動として確立されてきており、良いことであると考えます。</p> <p>そのほか何か質問はあるか。</p>
<p>学 識 経 験 者</p>	<p>避難行動要支援者登録制度の設問を追加するということであるが、一般高齢者の65歳以上の一番範囲の広い区分については追加しないということに疑問を持った。制度について広く知らせるという意味であるならば追加してもいいのではないかと考える。</p> <p>一方で、設問の数が多いのではないかと感じた。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>ご指摘いただいた設問の追加については、悩んだところである。</p> <p>制度に関する設問の内容については、登録が思うように進んでいないということに絞り込みすぎている面もあるため、65歳以上の区分への追加も含めて内容をもう一度検討したい。</p>
<p>学 識 経 験 者</p>	<p>質問ではないが、全体的な見解を述べたい。</p> <p>以前から大口町の計画には携わってきているが、時代の変化とともに設問の内容も整理されていると感じる。</p> <p>その中で、ACPや避難行動の話については、今まさに現場においてもどうしていくのか話題になっている。</p> <p>私は医療機関に勤務しているが、医療機関では、入院してきてから意識や判断能力がなくなってしまう方がたくさんいる。その方の医療方針を決める現在の常識としては、本人のことは本人が決めるということになっていて、家族がどうしたいかではなく、家族には本人だったらどう</p>

	<p>してほしいと思うかという視点で考えてもらうように変わってきている。以前は、家族にどうするかを確認しており、家族としては、自分の意見と本人の意見が混ざり合った希望を話していたと考える。</p> <p>中には、家族との関係が悪くて、家族からは何もしてほしくないと言われる方も増えてきているが、その意見をそのまま聞き入れることはせず、家族が本人にとって不利益なことを言っていると我々が判断した時には、家族の意向は聞くが病院としては医療ケアチームでどうするかを決めるということになってきている。</p> <p>そのため、なかなかきっかけは難しいとは思いますが、元気な時に自分がどうしてほしいかを考えて書き残しておく。病院においても、退院をする時に一人暮らしの方にはなるべく用紙を渡して書いてもらっており、説明をする機会が増えてきている。病院としても、その用紙を残しておくことで、その方がこの時点ではこう考えていたという資料になるため、実施するようにしている。</p> <p>こういった動きについては、福祉施設や在宅の支援機関の職員が訪問した時など、きっかけは多くあるため、耳にする機会が増えていくだろうと考えている。</p> <p>そのため、一般の65歳の区分の方にも、今回の実態調査を通して啓発をすることができればよいと考える。</p>
<p>議 長</p>	<p>そのほか何か質問はあるか。</p> <p>特にないため、本件については終了する。</p> <p>続いて、議題（2）その他の「介護予防支援事業の委託状況」について、事務局より報告をお願いする。</p>
<p>地域包括支援センター</p>	<p>令和4年4月から令和4年9月までの介護予防支援事業の委託先別請求実績について、資料を基に説明。</p>
<p>議 長</p>	<p>ただいま説明があったが、これについて何か質問はあるか。</p>

	<p>特にないため、本件については終了する。</p> <p>続いて、「指定居宅介護支援事業所の廃止」について、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>指定居宅介護支援事業所の廃止について、資料を基に説明。</p>
議長	<p>ただいま説明があったが、これについて何か質問はあるか。</p> <p>特にないため、本件については終了する。</p> <p>これまでの議題の中で、質問や意見はあるか。</p> <p>特にないため、以上で本日予定されていた議題の協議はすべて終了とし、議長職を降りる。</p> <p>議事の進行にご協力いただき、感謝する。</p> <p>(午後2時30分)</p>
健康生きがい課長	<p>次回は、年度末に開催予定である。委員の皆様においては、日程が決まったら再度ご連絡する。</p>